

リハビリ倶楽部陵南 8周年祭

3月13日(金)、14(土)の2日間に渡って、創心会リハビリ倶楽部 陵南の8周年祭が催されました。午前中は、実践調理の時間を使って、岡山郷土料理「まつり寿司」をスタッフとご利用者様で協力して作り、午後からは、第三吉備保育園の園児さんたち17名をお迎えして、園児の皆さんによる歌の発表、創心会スタッフによるビジョントレーニングや、ご利用者様の講演会、表彰式などが行われました。

ご利用者様による講演会で講師を務めた河田睦夫様は、企業戦士として42年間がむしゃらに働いて来られた方で、サラリーマン生活時には、ほぼ家に帰ることが無かったそうです。「家族を顧みず働き続けてきたが、今こうして、子どもや妻、仲間たちが支えてくれている。そのことに感謝しているとともに、彼らのためにもリハビリの成果を見せたい。」と力強く語られました。「地球にいるうちは気がつかないが、宇宙へ旅立つと地球の美しさに気づくことができる。同じように、今の私は、発症前の自分を美しいと感じている。」と講演最後に発せられた河田様の言葉にはハッとさせられました。



発症前の過去へ囚われるのではなく、発症前から現在までの自分の存在価値を認め、未来に向かって自分らしさを見出そうとされていることが伝わってきました。障害受容について改めて考える機会となりました。

05 ハートスイッチの取り組み

HEART SWITCH



就労移行支援事業を活用して就労者 15人を支援!

ハートスイッチでは、職場復帰や就労を目指した通過型のトレーニング施設(事業所)を、倉敷駅西ビルに「ハートスイッチ倉敷校」を開校して満2年を迎えました。昨年9月には岡山高島屋の隣接ビルに「ハートスイッチ岡山校」を開校し県内では唯一2拠点を持つ事業所になり、両校併せて15人と順調に就労者数を増やしています。

活用する制度は、障害者総合支援法になりますが、訪問看護や介護事業所に勤務経験のある作業療法士や職員を配置し、病院リハビリ室との支援連携も取り易く治療が必要な場合には迅速に対応も可能なため、最善のサービスをご提供するシステム構築に取り組んでいます。

【復職支援プログラム】

職場復帰の支援においては、“復職者への社内制度が整備されていない”“短期間で復職を果たせたが、以前との能力的ギャップがありうまくいわずに再休職や離職になった”など、復職時期を誤ったり時期尚早な復職をしたりすることで、当事者様の状態が安定せず、周囲の人間関係にも悪影響を及ぼしかねません。休職期間中のリハビリや、段階的な復職計画を通じて、徐々に回復させることが可能であり、就労移行支援事業の活用は、復職後も適度な節制と周囲の配慮によって、安定した就労継続を期待することができます。

以下のような方は、先ずはお気軽にお問合せください。

- 65歳未満で就労意欲のある方
- 傷病手当金受給中の方

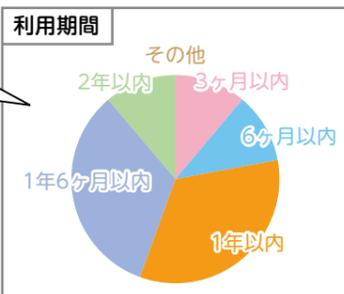
受けられる訓練内容

移動手段の確保
主治医・会社との連携
職場に合わせた職業訓練
体力・集中力等の回復
ストレス対処スキルの習得

活用する
メリット

職場復帰の実績は3名
(業種: 行政・企業・建設業)
利用期間は、6ヵ月~1年

- 在宅と会社のギャップ解消
- パソコンなど実務場面での状況確認
- 再発を防ぐ仕組みづくり



連絡先 担当: 宇野 TEL: 086-435-5400



心から
創りから



リハビリ倶楽部 陵南8周年祭での表彰式

ご利用者様それぞれの「できる」を促進

01 6月予定 リハケアタウン東館に
リハビリ倶楽部茶屋町
リニューアルオープン

- 02 リハケアタウン北館 内覧会報告
- 03 スイーツ倶楽部教室 開催
- 04 リハビリ倶楽部陵南 8周年祭
- 05 就労者移行 支援事業

01

創心会リハビリ倶楽部 茶屋町より

リハビリ倶楽部茶屋町 リニューアルのお知らせ

～活動・参加の促進を目指して～

今回の報酬改定の大項目である「活動・参加への促進」をテーマに、準備を進めています。これまでリハビリ倶楽部では、日本家屋の特性を踏まえ、要介護状態の方がいかに環境を限定せずに自立された生活を送れるようになる為のハードとソフトの提供を試みて参りました。そして心身機能の向上や生活行為の向上に取り組むサービスコンセプトを推進して参りました。

リハビリ倶楽部茶屋町では、施設内を一部改修し、平成27年6月からリニューアルオープンを予定しています。(先日3月11日～14日の内覧会内でもご紹介させていただきました。)

リハケアタウン北館に新設される百年煌倶楽部(中重度対応型)、五感リハビリ倶楽部(認知症対応型)と合わせて、ご利用者様のニーズに応じて、より目的・目標志向でのサービス選択にお応えできることを目指します。

例えば、施設環境の特色としては、手すりを最小限にし、家庭内にある環境を再現したバリアフリーし過ぎないフロアづくり、適度にストレスのある環境での注意力・認知力の向上を目的としておりました。また ADL の自立に向けた、心身機能や生活行為の個別訓練を提供して参りました。また、リハビリユニット(7-9h)と元気デザインユニット(短時間)というニーズの違うご利用者様のサービス空間を単位分けすることによってサービス提供を行って参りました。

これまでの経験値を活かしつつ、別々のユニット単位で運営していたサービスを一体的にすることで、それぞれの特色としていたハードとソフトを横断的に利用していただけるようにいたします。私たちなりに考えた、自立した生活への基本となる活動と、参加の機会を提案する体制づくりを計画しています。

利用者別の4つのデイサービス

リハビリ倶楽部茶屋町がリニューアル!
東館 創心会リハビリ倶楽部 平成27年6月 予定 OPEN 定員80人

元気デザインコース
とにかくリハビリを頑張りたいという方向けのデイサービスです。「職場に復帰したい」といったような前向きな目標を持つ方にお勧めです。食事やお風呂はありません。

リハビリコース
食事、入浴など、生活面での不安を持つ方向けのリハビリ強化型デイサービスです。家庭で、自立した生活が送れるようになることを目指します。

北館 百年煌倶楽部 平成27年6月 予定 OPEN 定員35人
比較的高齢な方や介護度の重たい方にも対応した施設です。基礎体力づくりなど、自宅で生活できるよう、無理のないリハビリプログラムを提供しています。

北館 五感リハビリ倶楽部 平成27年6月 予定 OPEN 定員12人
認知症状を緩和することを目的とした施設です。五感を刺激することで、もの忘れなどの症状の改善を目指します。

創心会リハビリ倶楽部

元気デザインコース
こんな方にオススメ!
短時間で集中して「してもら」リハビリではなく、「する」リハビリから生活の可能性を広げたい。適切な運動指導を受け、生活の可能性を広げたい。運動する生活習慣を獲得したい。社会復帰・自立をしたい。

リハビリコース
3つのしないケアで自立に向けて「できる」を増やそう!
1. 何でもして差し上げるケアはしません!
2. 過剰なバリアフリーにしていません
3. 無目的なレクリエーションをしません

リニューアル後はユニットではなく、「リハビリコース」「元気デザインコース」と改名。7-9hでも短時間でもご利用できるようにプログラムを設計させて頂きます。

活動・参加の促進イメージ
リハビリ倶楽部では要介護状態であっても生活を主体的に過ごされている方々はたくさんおられます。それぞれの活動・参加の場で自分らしさを表現されています。

上記の他、バイク式の昼食提供や地域交流カフェスペースを設けていくことを計画しています。その為平成27年4月～5月迄の期間フロアの改修工事を行っております。

この度の計画の為に、既存の施設から一時的にリハケアタウン北館内に移転することが必要となりました。ご利用者様、ご家族様並びに担当ケアマネジャー様が大変なご理解をいただいていることと存じます。内覧会でご来場くださいました皆様のお声も参考にさせていただきながら、より質の高いサービスを提供できるよう準備を進めさせていただきます。何卒よろしくお願いたします。

02

リハケアタウン北館 内覧会の報告

地域の皆様との交流ができました

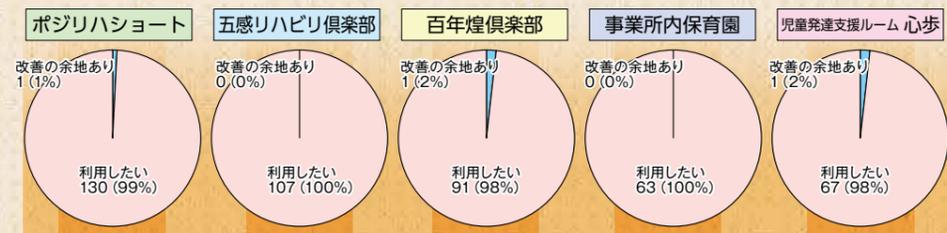
平成27年3月11日～14日にリハケアタウン北館内覧会を開催しました。11日、12日のケアマネジャーの方を対象にした内覧会では、施設コンセプト、各事業所の特徴をご紹介しながらのご見学や、デイサービス、ショートステイで提供のお食事メニューの試食会を行いました。

13日、14日の地域の方を対象にした内覧会では、スタンプラリー形式で館内を自由に巡って頂きながら、パンジーの花の植え付けコーナーや、サービス体験コーナー等を設け、全てのスタンプをGETされた方で先着50名の方に焼き立てパンのプレゼントを企画いたしました。

おかげさまで、4日間で400名以上と予想を上回る数のご来場をいただき、大変盛況に内覧会を終えることができました。ご来場者の皆様との交流から、私たちの気が付いていないことや課題も解り、オープンに向けての準備に取り組むことができました。(ポジリハショート、ほっ歩保育園、心歩が4月1日よりオープンとなりました。)オープン後の様子もぜひご見学くださればと思います。心よりお待ちしております。

13日、14日来場者アンケートより(一部)

Q:内覧会を見て、各サービスについてどのように感じられましたか。(いくつでも可)



(アンケート回収総数 179件)

03

創心会 元気デザイン倶楽部 笹沖より

交流広がる「スイーツ倶楽部教室」

3月8日(日)くらしき健康福祉プラザにて、今では恒例イベントとなった創心会元気デザイン倶楽部 笹沖のスイーツ倶楽部教室が開催されました。今回で7回目となる、このお菓子作り教室。この日作ったスイーツは見た目も可愛い「バラの花のアップルパイ」です。スイーツ倶楽部をまとめる、建部有子さん、平松孝子さんが主となり、材料の準備やレシピの作成、施設の予約などを行いました。

参加者は、スタッフ、ご利用者様を合わせて20名。今回から初参加の方も3名いらっしゃいました。初参加のきっかけは、ご利用者様同士の声掛けによるものが多いそうで、創心会元気デザイン倶楽部 笹沖から参加した松田幸子さんもその一人。建部さんをはじめとする、元気デザイン倶楽部 笹沖に通う、スイーツ倶楽部参加者との会話から参加を決められました。子どものおやつは全て手作りしていたという松田さん。お菓子作り経験者も増え、回を増すごとにお菓子のレベルが上がっているこのサークル。活躍の場も広がるのでは!?今後の活動にも注目です!

